

第3回大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 保健福祉部会 会議要旨

- 1 開催日時 平成26年7月4日(金) 14時00分～
- 2 開催場所 大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室
- 3 出席委員 早瀬委員(保健福祉部会長)、中尾委員(保健福祉部会長代理)、伊藤委員、白澤委員

4 議 題

- 1 「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況について
- 2 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定(案)について
 - (1) 計画(総論部分)、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの方針
 - (2) 計画(各論部分)、重点的課題の取り組みの方針
- 3 その他

5 配布資料

- 資料1 「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況
- 資料2 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定スケジュール
- 資料3 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の総論(案)
- 資料4 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の各論(案)及び重点取り組みの検討状況

(参考資料)

- 1 大阪市高齢者実態調査(市民を対象とした各調査)の結果の概要
- 2 大阪市介護保険事業の現状
- 3 介護保険制度に関する制度改正等

6 会議要旨

【議題1】

○事務局から、資料1に基づき、「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況について説明。

(主な意見等)

- ・ オレンジプランに一般病院の研修の充実というのがある。一般病院で、認知症の方がきっちりとした入院医療を受けられるような体制作りについても検討が必要ではないか。
- ・ 大阪市内にサービス付き高齢者向け住宅が増えている。第5期計画の進捗状況等には、第5期計画の策定時には無かった施策についても、今後の方向性の中に盛り込んで、次の第6期計画を想定したものを書き込むなどしてはどうか。
- ・ 認知症サポーターの養成数が増えているが、養成した人たちをどのように活用するかなど、次の方向性が示されれば取り組みやすくなると思う。

【議題 2 (1)】

○事務局から、資料 2 に基づき次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定スケジュールについて、資料 3 に基づき次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の総論(案)について説明。

(主な意見等)

- ・ 高齢者の権利擁護施策に関して施設等の虐待の問題が多くなっており、養護者支援だけでなく施設における高齢者虐待防止についても、今後の方向性として必要。
- ・ 地域ケア会議で扱う内容が生活支援サービスの充実につながってくるよう、地域ケア会議の取り組みと生活支援サービスの充実は連続性のあるものとして地域でつくりあげていくようなものを検討していってほしい。
- ・ 地域ケア会議は行政に対する要望だけで終わるのではなく、地域の方が主体的に地域の問題をすくい上げていく方法も含めてイメージできるようにしてはどうか。
- ・ 調査結果の継続的に参加している団体や集まりについて内閣府の全国調査と比較すると、大阪市の町会への参加率など全体的に低いように思う。質問の仕方が違うので単純な比較はできないかもしれないが、可能なものは全国調査との比較もお願いしたい。
- ・ 大阪市において N P O やサロン活動の実態がどうなっているのかをまず把握し、それを今後どのようにしていくのが非常に重要だと思う。
- ・ 地域包括ケアは主に中学校区単位が行われているが、計画は大阪市単位となる。区レベルではどうか、中学校区単位ではどうかということを考えながら地域包括ケアに対してどのように取り組むか考えた方がよいのではないかと。
- ・ 病院の機能分化に関連して、今後入院中の人々が退院して在宅に戻ってくる。そういった分も推計に加味するなど必要ではないかという感じがする。

【議題 2 (2)】

○事務局から、資料 4 に基づき次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業」の各論(案)及び重点取り組みの検討状況について説明。

(主な意見等)

- ・ 在宅医療・介護連携の推進については、行政が主導的な立ち位置にいて事業が展開していくと思う。平成 30 年に向けてどのように推進していくのかという部分を示していただければと思う。
- ・ 今回、大阪市でもポイント制度の創設についての導入が検討されている。他の都市ではずいぶん前からいろいろやっではいるが、どこまで効果があがっているのかという問題がある。
- ・ 生活支援コーディネーターには、市民がボランティアに問題解決に参加する、あるいは燃え尽きないようにうまく調整する力が必要になると思う。市民の参加を促すと言う専門性を作っただけならと思う。また、どういった力を持った人が生活支援コーディネーターなのかを明確にしていく必要があると思う。

【議題 2 (2)】

(主な意見等)

- ・ 認知症支援を担う医療・介護の人材育成の必要性は認識いただいているが、オレンジプランに載っていることを想定されているのか、どのようなことを想定しているのか。医療と介護がばらばらではいけないということを国は前面に出してきているが、これまでの認知症支援事業をそのまま継続すると、なかなか医療と介護の統合というところには至らないと思う。

【議題 3】

○その他については、特になし。